

第3学年 道徳科学習指導案

令和3年1月23日（土）4校時

第3学年 1組山根千尋 2組神尾恵美 3組天野雄大 4組渡邊俊明

- 1 主題名【 ゆめに向かって A－（5）希望と勇気、努力と強い意志 】
- 2 教材名 「スーパーパティシエ物語」
- 3 ねらい 目標に向かって強い意志をもち、粘り強くやり抜こうとする実践意欲と態度を育てる。

4 展開

	学習活動と主な発問 ◎中心発問 ○主な発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点
導 入	1 夢をかなえるためには、どんな気持ちが大切なのかを考えるための糸口として自分の夢を伝え合う。 ○自分の将来の夢はありますか。 ○夢に向かって努力をしていることはありますか。	・物語と日常生活を関連付けて考えられるよう、導入で自分自身の夢について想起する。
展 開	2 「スーパーパティシエ物語」を読んで、話し合う。 ◎ヒロがケーキ作りの修行をがんばることができたのは、どうしてでしょう。 ・世界一のパティシエになりたい。 ・おかし作りは楽しい。 ・自分のおかしでみんなをおどろかせたい。 ○ケーキとあめ細工を完成させたとき、ヒロはどんなことを考えていたでしょう。 ・がんばってきてよかった。 ・夢がかなった。 ・みんなが感動してくれてうれしい。 3 自分の生活を振り返る。 ○あなたの夢は、何ですか。夢に向かって、どんなことをしていきたいと思いませんか。 ・ようちえんの先生 ピアノがひけないとなれない。 練習を頑張る。 ・分数の計算をまちがえない。 まちがえたらたしかめる。	・厳しい修行の内容に触れ、苦しい修行から逃げ出したくなる人間の弱さや、それでもやり抜こうとする人間の強さに気付かせ、意見をもちやすくする。 ・「ひみつノート」を作っている時のヒロの気持ちを想像させ、困難にもめげない強い意志の根底にある思いに気付けるようにする。 ・これまでの厳しい修行や壮絶な大会の様子に着目させ、自分の夢に近づいていくときや、夢がかなった時の喜びの大きさを感じ取れるようにする。
終 末	4 教師が説話を話す。	・教師が努力を続けてきてよかった経験を話す。

5 評価

- ・自分の決めた目標や夢に向かって、粘り強くやり抜くことの大切さについて考えている。（記述）

○「スーパーパティシエ物語」

○ねらい

目標に向かって強い意志をもち、粘り強くやり抜こうとする実践意欲と態度を育てる。

○手立て

「スーパーパティシエ物語」は、辻口博啓さん(ヒロ)が小学3年生のときに世界一のパティシエになる夢をもちます。人の3倍も練習して厳しい修行も乗り越え、29歳でお菓子の世界大会で優勝して夢を実現させたというお話です。

ヒロ(辻口さん)が夢をもったのが小学3年生であり、児童と同じ年頃であることを意識させます。厳しい修行では、「こんなに苦しかったら、がんばれないのではないか。」と問い、厳しい修行から逃げ出したいくなる人間の弱さや、それでも夢の実現に向けて諦めずにやり抜こうとする人間の心の強さに気付かせるようにします。今の自分が夢に向かってできることや夢をかなえるために大切なことを具体的に考えさせ、そのためには絶え間ない努力や簡単に諦めない気持ちが必要であることに気付かせます。

○児童の様子

ヒロこと辻口博啓さんが「ケーキ作りの修行をがんばることができたのは、どうしてでしょう。」と聞いた際に、児童からは「どうしてもパティシエになりたい」「おいしいケーキを作りたい」「(ケーキを食べた)みんなの笑顔が見たい」との反応が返ってきました。また、「ケーキとあめ細工を完成させたとき、ヒロはどんなことを考えていたでしょう。」と聞くと、「あきらめずに頑張ってここまでやって来られたことがうれしかった」「一番美しい作品ができてよかった」という反応が返ってきました。

そして、授業の最後は自分の事を振り返り、「夢に向かって、どんなことをしていきたいか。」を聞くと、児童からは「辛くてもあきらめない。」「新しいことにチャレンジをする。」「辻口さんのように、人の三倍努力をする。」と言った前向きな意見が多く返ってきており、自ら積極的に挑戦していこうという姿勢が印象的でした。

○写真

